

税源にどんな施策や予算投入がなされたか。配分が要求の積み重ねになり過ぎてはいないだろうかという主旨でした。財政が厳しいと必要に迫られた所に、つい出費がかさんでいく事は家計でも、市のお金でも基本的に変わらないように思います。

どうしても要望要求が声高の所や経常的に必要だという事で、一方にお金が使われがちです。商工業が繁栄し、市民の経済が安定してこそ税収への還流もあろうとの思いでした。

二つ目は土地区画整理住宅地が、一時に年代や職種の似た人達を余りにも揃って入居を促すために、入居時の若い世代が後年、大規模な高齢化世代を到来させる事についてでした。二代目が成人しても同居はできず、極端な高齢化地域になる事例が区画整理先進地には見受けられます。現在、区画整理を進める上で将来二代目の市内定住化策を如何に考えておくべきかについて課題を提供しました。

本会議場での発言については、市幹部、議員揃っての席にふさわしいなるべく共通議題を提供すべきと考えています。できればその課題に対する市長の発言が幹部はじめ皆さんに参考になったり、考え方を聞くよい機会になればとも考えています。

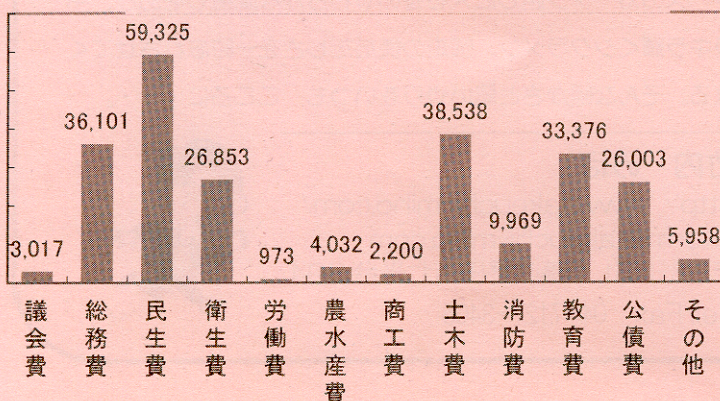


一般質問が、支援者要望そのまま、市長はおろか幹部も十分承知してないような細かな発言もまま聞かれます。支援者の要望や要求に答えることは、議員として特に大切なことでしょう。ただその要望の多くは、具体的で具現化を求められる事が多いはずで、少なくとも本会議場での話では無く、担当職員に直接聞けば済む事も多いと思います。

担当に直接状況を聞きお願いをし、課長や部長さんにも話を聞いて戴く、場合によっては財政担当に予算措置の状況を確認する、格別大きな課題なら市長、助役さんにも要望内容の説明をさせて戴く。それが本来なのかもしれませんが。議員活動が常に極端な自身の選挙活動だけになってしまっているのは、この度の国会議員選挙でも気付かされた事ですがあくまで選挙は手段だと思います。目的は議員として何を留意し如何に行動すべきかだと強く念じています。

切にご指導とご支援をお願いいたします。

<支出の内訳 H14 市民1人当り額(円)>



<市税の内訳 H14 市民1人当り額(円)>

